

令和2年第8回定例会一般質問通告事項

12月9日	加納康平議員（公明党・木曜会）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 新型コロナウイルスの感染拡大に備えた対策と「新しい生活様式」に向けた諸施策の具体化について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染拡大に備えた対策について</p> <p>ア 感染拡大の波に備えて、国が示した基本的な考え方に基づき、医療提供体制の確保を着実に進めることが必要と思うが、感染患者を受け入れる「重点医療機関」の設定、各病院の入院調整や受け入れをスムーズに行うための体制の構築、また実情に応じた、必要な空床や宿泊療養施設の確保、不足する医療人材の適切な確保は。どう取り組んでいるか、現状を伺う</p> <p>イ 今秋・冬のインフルエンザ流行も見据えたPCR検査及び医療提供体制はどのようになっているか</p> <p>(2) 「新しい生活様式」に向けた諸施策の具体化について</p> <p>ア オンライン学習のための端末や機器の整備など、GIGAスクール構想関連事業等との連携、さらには児童生徒・学生や教員が学校・自宅で使うICT環境の整備は現在まででどうなっているか、進捗状況を伺う</p> <p>イ 文化芸術、図書館、公共の施設など、人が集まる空間で、「密」を可視化するためのオンライン情報やアプリなどを活用した予約システムの確立、プッシュ型の情報発信などが「安心」を担保すると考え、文化芸術・スポーツの活動継続に向けた支援についても積極的に推進すべきと考えるが、現在の取り組み状況と今後の見通しについて伺う</p> <p>ウ 高齢者・子育て家庭などの見守りや支え合いの社会の構築については、今後「新しい生活様式」に対応するため、オンラインツールの活用も重要と考える。 特に介護や福祉分野では、ロボット技術やICT等の導入を用いたケアモデルの支援、個人の健康データの利活用の推進などを図り、健康寿命の延伸につなげていくべきで、こうした課題にどう取り組んでいくか伺う</p>	

<p>12 月 9 日</p>	<p>エ 「新たな日常」の構築に向け、多くの人が集まる場所の水道やトイレ、ゴミ箱等に、手を触れずに済ませることができる自動化の推進や工夫、マンションや住宅における宅配ボックスの設置なども有効だ。本市においても、生活上のリスクを下げるための取り組みを推進すべきと考えるが、見解を伺う</p> <p>2 国道 184 号（門田工区）道路改良工事について</p> <p>(1) 現在進められている平地部分の道路改良、地盤改良工事について現状はどのようになっているか</p> <p>(2) 本線工事より先に南北に側道部分を優先し工事が進められ、完成は令和 3 年度末と聞いているが、進捗状況及び工期はどのようになっているか</p> <p>(3) 山地部分については、まだ買収箇所が残っていると聞いている。今後、本線工事の着工に向けて山地部分の買収の見通しはどのように考えているか</p> <p>(4) 山地部分の工法については、当初計画の掘り切りからトンネル工法へ変更する内容の説明を受けたが、実施工法の考え方や今後の予定をどのように考えているか</p>
-----------------------------	---